

富山のデータが減衰してきて、5月5日の能登地方M6.5の大地震が発生したあと、5月半ばごろから富山のデータが再度上昇してきて、その後約2か月かけてゆっくり減衰してきています。昨日7月19日水曜日に配信の、逆ラジオ通信 No.27 W-230719 のトピックスに、“富山及び周辺データの減衰 つづき”として、【安曇野】にはリバウンドのような大きな1本立ちが出ていますが【富山】【伊勢B261, 262, D484】などがさらに減衰、収束してきており、前回の予想の日程のみを変えて、次の予想とします

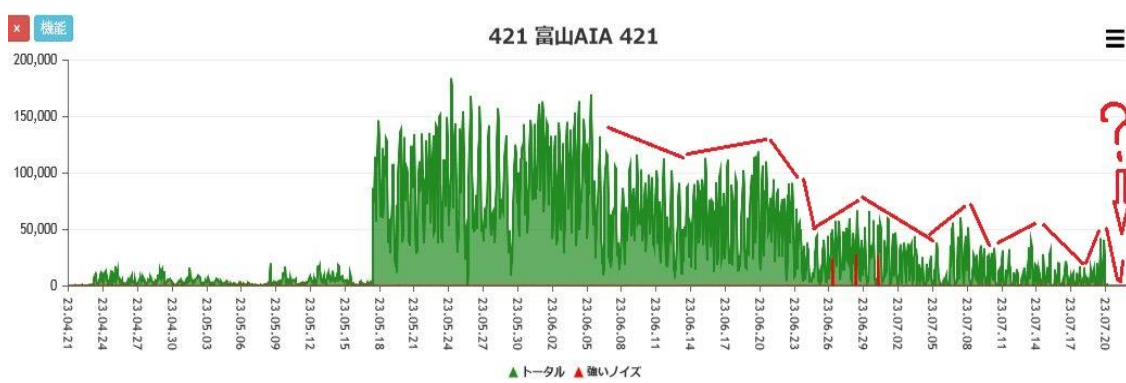
- ・震源：長野周辺、又は富山県、石川県の日本海側
- ・地震の規模；M6クラス
- ・発震予想：本日7月19日より5日間程度と載せています。

また伊勢の観測点、【伊勢B261】【伊勢B262】【伊勢D484】【伊勢C330】なども減衰傾向が続く【印南】にも減衰が見られ、【伊勢】周辺の大型地震に十分な注意が必要です。以下各地のデータを参考までに載せます。

富山 180 日間（日毎）データ



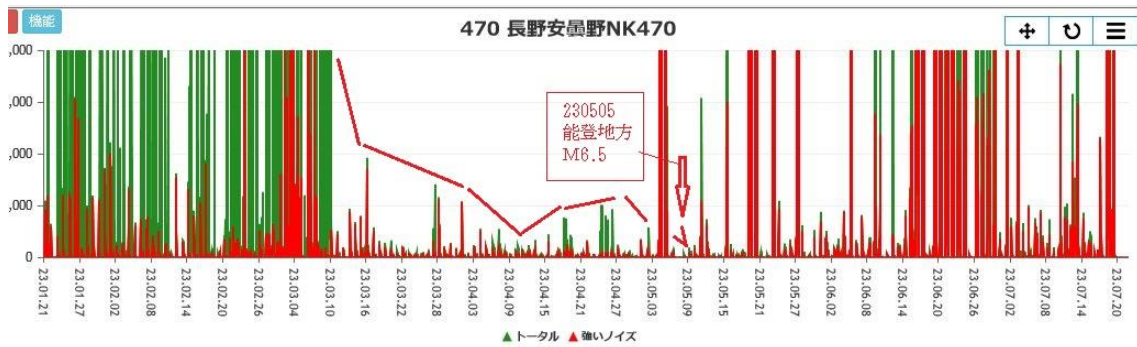
富山 90 日間データ



長野 安曇野 180 日間（日毎）データ



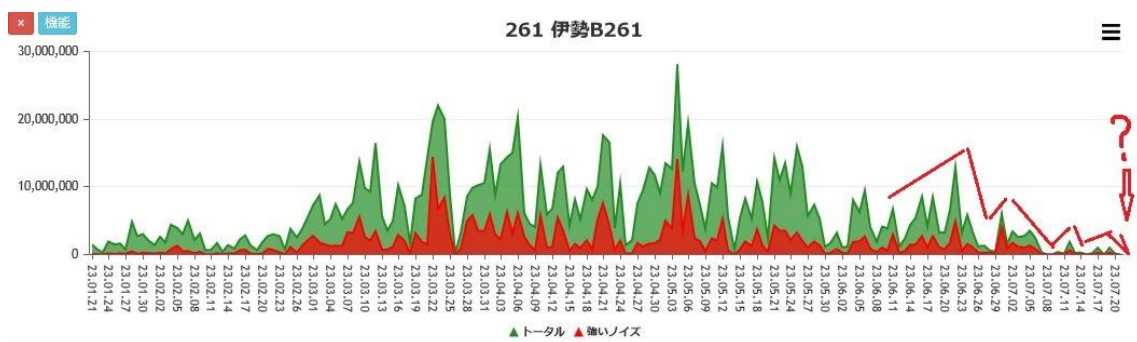
長野 安曇野 180 日間データ（拡大）



長野 安曇野 90 日間データ



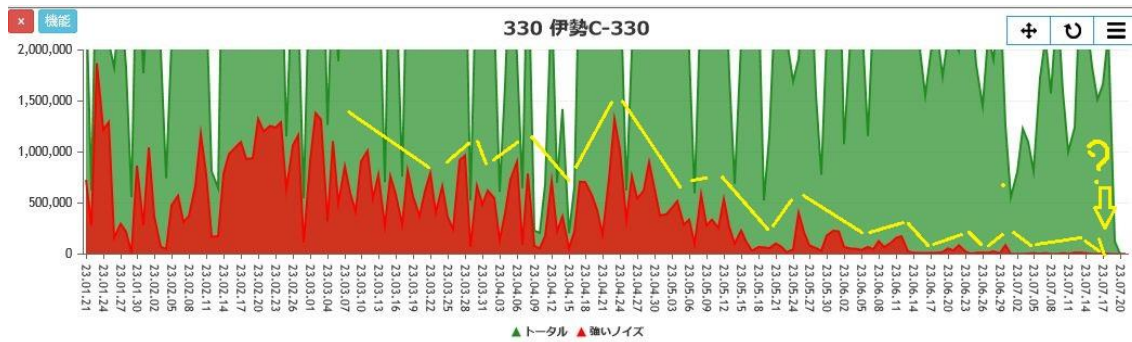
伊勢B261 180 日間（日毎）データ



伊勢B262 180日間（日毎）データ



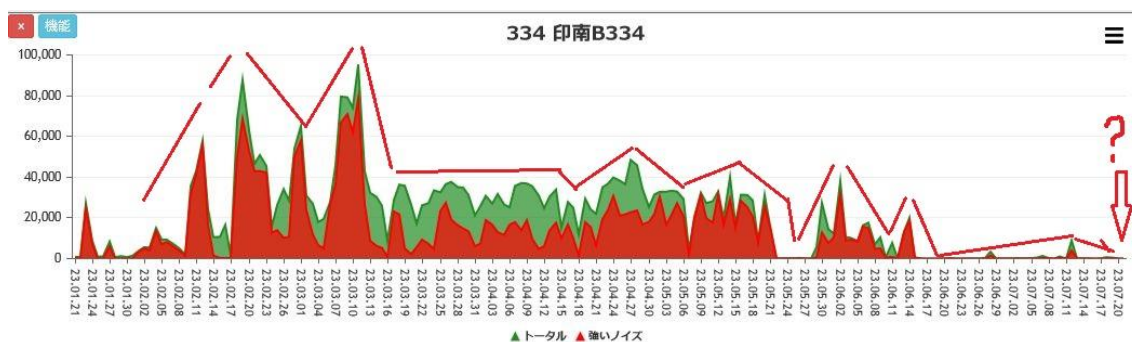
伊勢C330 180日間（日毎）データ



伊勢D484 180日間（日毎）データ

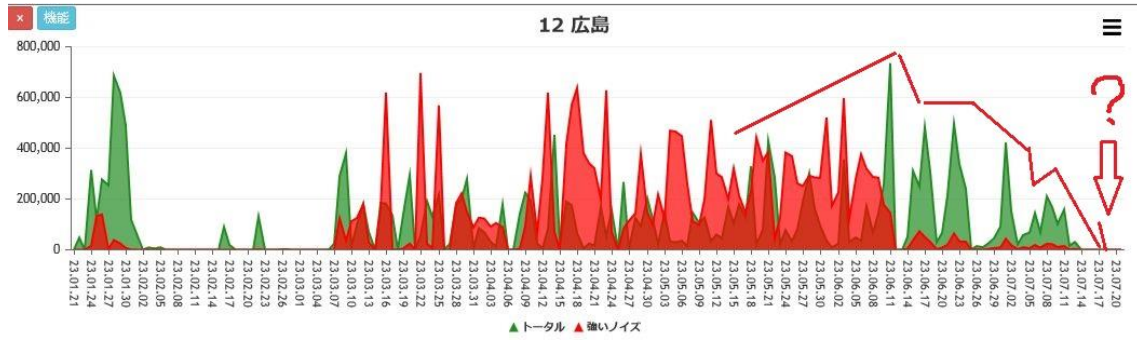


印南 180日間（日毎）データ





広島 180日間（日毎）データ



位置関係 赤丸が異常データの出ている観測点

